



内宮から剣峠を越えて南伊勢へ向かう県道は、道幅が狭いため行き交う車がほとんどなく、聞こえるのは五十鈴川のせせらぎと野鳥の囀りだけ。植林されていない河畔には原生林が残り、初夏は新緑、晩秋は紅葉に彩られ、そこにいるだけで心が洗われるような別天地です。

町の喧騒を離れて、非日常のひとときを愉しまれてはいかがでしょうか。

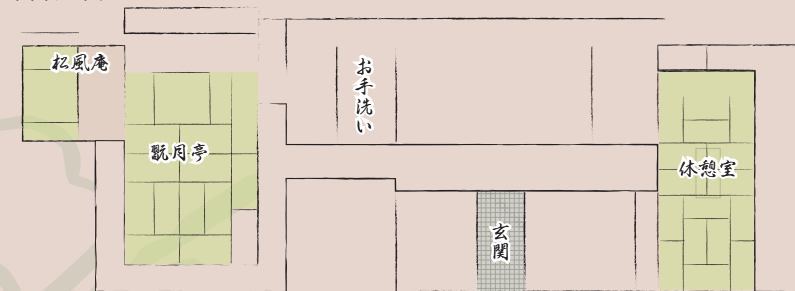
洗心荘亭主・豊浦流十七代家元

上嶋宗規



洗心荘 占有貸切利用のご案内

間取り図



松風庵

松風庵外観

翫月亭

休憩室

洗心荘

アクセス



伊勢神宮内宮
(皇大神宮)
宇治橋前

車で7分(3.8km)

洗心荘

ご利用料金

施設占有利用

¥200,000(税別) / 日(9:00~17:00)、5時間未満 ¥160,000(税別)

お茶会実施加算料金

¥200,000(税別)(5人まで)

¥220,000(税別)(10人まで) ¥260,000(税別)(20人まで)

※松風庵のお点前でのご利用は1日5名までとさせていただきます。

豊浦流十七代家元 指名加算料金 ¥30,000(税別)

※お食事については公式ホームページをご確認ください。※利用料は予告なく変更する場合がありますので、公式サイトでご確認ください。

占有貸切のご案内



お問い合わせ、ご予約・ご相談は
以下のお問い合わせフォームから
<https://ise-okage-stay-resorts.co.jp/inquiry/>



株式会社 伊勢おかげステイ&リゾート

〒516-0028 三重県伊勢市中村町 607 番 28 号

<https://ise-okage-stay-resorts.co.jp>



ISE OKAGE STAY & RESORTS INC.

株式会社 伊勢おかげステイ&リゾート

五十鈴川上流の数寄屋で 非日常のひとときを

洗心荘「翫月亭」「松風庵」

皇祖神・天照大御神をお祀りし、年間数百万人の参拝者を迎える皇大神宮（内宮）。賑わいに包まれる神域への入り口・宇治橋から五十鈴川を遡ると、ご造営用材を育む神宮林の中に、かつて高麗広こうらいびろと称された小さな集落があるのをご存知ですか。

内宮から南へ4km 弱、緑陰の県道を進むと、神路山麓の五十鈴川左岸に、広葉樹に囲まれて一軒の数寄屋が佇んでいます。御神號の掛軸をはじめ、社寺や茶掛の軸装、書画屏風などの表装を行う「三重軸装」が、平成初期に保養所として建てた「洗心荘」です。のちに客殿、茶室を増築し、茶庭を設えて風流人をお迎えするようになりました。



まずはここでご一服。

当荘が建具や茶道具とともに受け継いだのが、豊浦流とゆら茶道です。武家や公家の流れを汲むといわれる書院の茶道で、使用する道具は千家流以前の物もあり、お茶や菓子かしは畳の上に置かず、天目台に載せてお出しします。

一服の後は一献を。伊勢の老舗料亭から運ばれる季節料理をご堪能ください。



入り口には瓦葺の四脚門が構え、ここから先、俗世間とは違う空間が始まることを告げます。門をくぐり、伸びやかな前庭を進んで館に入ると、左手に客殿「翫月亭」、背後に茶室「松風庵」が並びます。ともに、長年守られてきた伊賀の旧家から譲り受け、移築いたしました。

八畳と十畳の二間に、濡れ縁を回した翫月亭では、欄間や引き戸などの建具に施された、雅な螺鈿細工やかざり金物に目を引かれることでしょう。それらは奈良の乗院邸で使われていたもので、同寺別当の配下であった亭主に払い下げられ、茶道具とともに代々受け継がれてきました。伊勢本街道に面した同寺は、都人が伊勢詣の休憩所として利用されたと聞きます。

翫月とは、月をもて遊ぶという意味。かつてはこの館で、三日月、上弦、望月、下弦と、折々に月が愛でられていたのでしょうか。



いったん外に出て、庭園の露路を進むと、待合の先に三畳中板の松風庵があります。古くは大徳寺松末寺の龍王寺（伊賀）境内にあった茶室で、安政の大地震など天災に遭いながらも、残された部材を生かして大切に守られてきたそうです。

一同が会す客殿から、亭主との距離に近い侘びの草庵へ。趣の違いをお愉しみいただけることでしょう。ここで一席をどうぞ。

